

# 矢野恒太翁頌徳碑



## [碑文]

矢野恒太翁は慶応元年十二月二日備前国上道郡角山村に生れ岡山大学医学部の前身第三高等学校医学部に学ぶ<sup>つと</sup>夙に生命保険事業の相互化さるべきことを唱道して明治三十五年第一生命保険相互会社を設立し昭和二十一年取締役会長を辞する迄半世紀の久しきに亘り生命保険の普及<sup>じんすい</sup>発達に<sup>かつ</sup>尽瘁せり翁嘗て<sup>デンマーク</sup>丁 抹 国に遊び国民高等学校を知り之を範として昭和九年郷里に農民道場三徳塾を開く塾は十四年岡山県に寄附せらる十九年県は更に塾分場の開設を設画し翁の寄附により勝田郡植月村に山林五十有余町歩を得て此処に開拓の実習地を設けたり二十四年県は此地の施設一切を林産種苗場に転用二十七年林業試験場となり<sup>じらい</sup>爾来事業年を<sup>お</sup>遂ふて盛大に赴き今や此地に国立林木育種場の並立をも見るに至りたる<sup>ゆえ</sup>所以のものは遠く翁の高邁なる識見と熱烈なる郷土愛に出でたるに外ならず<sup>こゝ</sup>茲に往時を追懐して翁の遺徳を顕彰する

昭和三十六年十月

岡山県知事 三木行治 撰